

# かわさきTMO通信

<毎月おじゃまします・かわさきTMOタウンマネージャーです>

## 2012・3月号 No.40

- 来街者アンケート調査の結果概要
- 中心市街地の交通を考える
- 川崎駅南口改札の設置要望
- 大型バス駐車場設置要望

発行元：川崎商工会議所  
 発行責任者：副会頭 深堀和子  
 編集責任者：タウンマネージャー 笹原克  
 発行日：2012年3月25日  
 発行部数：1,000部  
 ◆連絡先  
 TEL：044-540-3904  
 FAX：044-540-3900  
 E-mail：sasahara@kawasaki-cci.or.jp  
 「まちづくり情報交換誌」を目指しています。タウンマネージャーにお気軽に情報をお寄せください。  
 ご意見・ご感想・ご要望大歓迎です！

### ◇来街者アンケート調査結果概要

二月十一日から十三日にかけての三日間、川崎銀座街、川崎信用金庫ふれあい広場前、ラッチタテラ内の三か所で、延べ二百六十九名の来街者からの直接アンケートを実施しました。アンケート調査の目的は商店街協定の実施にあたり、来街者の意識及び意見を収集・反映することにあります。

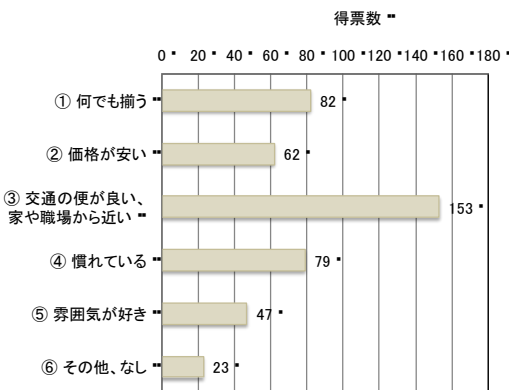
アンケート回答者の属性は、概ね男女半数ずつ、年齢構成をほぼ均等にしました。また、回答者の居住地は、「川崎区」が三十二%、「幸区」が二十%、「川崎区幸区を除く市内五区」が七%、「川崎市以外の神奈川県内」が二十一%、「東京都内」が十六%、「その他」が二%、「不明」が二%となっています。

来街頻度は、「週に1〜2回」が最も多く三十%、次いで「週に5回以上」が二十三%、週に3回〜4回が十三%と、週に数回程度の来街者が六割以上を占めている。また、「月に1〜3回程度」の来街者が十九%と二割程度ある。「月一回未満」が十%、「今回初めて」という来街者が五%ありました。川崎駅周辺の中心市街地の魅力は、最も高いのが「交通の便がよい」で五

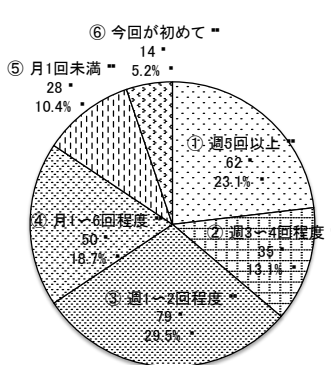
十八%、「なんでも揃う」が三十一%、「慣れた街」が三十%、「価格が安い」が二十三%となる。「その他」が九%あるが、その中には音楽の街、映像の街であることをあげていました。

一方、街の課題としては、「放置自転車」が四十六%、「ゴミ、吸い殻、衛生面」を挙げている来街者が四十四%ありました。この放置自転車問題とゴミ問題とが大きく課題としてあげられています。「風俗店の看板」が十六%、「客引き」が十一%、「はみ出し陳列」が八%、「その他」が十六%あるが、その中には駐輪場の不足、自転車マナーの悪さなど自転車に関するものが入っており、放置自転車と合わせると半数をこえています。

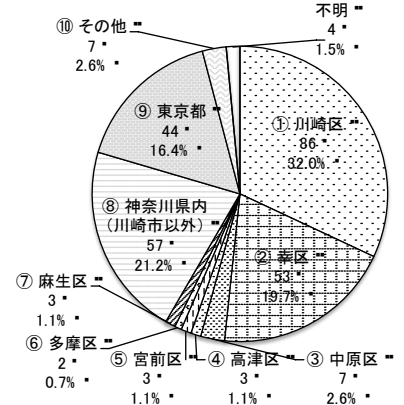
商店街協定に関しては、九十五%の来街者が支持しており、その中で、「ルールを順守する店なるべく買い物をしたい」と積極的に支持する来街者は、四十八%に達している。一方「ルールは評価するが、順守する店で買物をするかはわからない」とする来街者が四十七%となっています。結果約半数の来街者は、商店街協定順守店で買物をするのみならず、



図表 街の魅力



図表 来街頻度



図表 標本構成(居住地)

◇中心市街地の交通を考える

来街者アンケート(前頁掲載)の結果

果からも川崎駅周辺を中心市街地の最大の課題は自転車問題とされています。その中身は、街中の放置自転車、駐輪場の不足、自転車運転のマナーの悪さ、自転車事故などがあげられます。

自転車交通に関しては、かわさきTMOとしては、基本的に自転車交通を大切な市街地交通の一つとして考えております。ただ、現状のように自転車交通に関する社会的基盤(インフラ)が未整備なために生じている自転車問題と考えております。現在、世界中の都市で自転車交通が見直されており、市民の大切な足として位置づけられてきております。川崎駅周辺地区においても秩序ある適正かつ安全な交通手段として今後整備されていくように提案をしております。

川崎駅の東口(海方面)のバスの体系は、駅を中心として放射状に東西方向にルートが設定されています。そのため、南北方向での移動の場合、一度駅(西)に向かって進み、駅で乗り換えて東方向に行かねばなりません。つまり、回遊するルートがないのが市民にとって不便となっています。また、

バスによる駅東西間のルートもなく、東西回遊ルートがありません。

かわさきTMOでは、駅東西をむすび富士見公園・川崎市病院とを回遊する通称ワンコインバスの提案をし、その実現化に向けて各方面等も調整してきております。また、川崎区議会でも高齢者の足となるコミュニティバスの運行に関するアンケート調査を行っており、中心市街地の新しい交通を考える場面が増えてきております。

TMOの中心市街地の交通の基本的な考え方は、「人が楽しく、安全に歩くこと」です。人間が歩くことが交通の基本としてとらえております。そこには、若い元気な男女、高齢者、子供たち、何らかの障害を持っている方、外国人など誰でもが楽しく安全に歩けることが川崎の中心市街地の交通と考えます。自転車や回遊バスなどは、その歩く人たちに対して足りないものを補足するものとして位置づけています。例えば、距離が遠いとか、荷物が多いとか、歩行に支障があるとか、道に不案内だとかを助ける交通を用意してある街がいい街といえます。

(タウンマネージャー笹原克)

◇川崎駅南口改札の設置要望

三月二十一日に川崎市長及び川崎市議会議長あてに「川崎駅南口改札の設置要望」をかわさきTMO、川崎商工会議所、川崎市観光協会、川崎中央商店街連合会、川崎駅前商店街連合会の五団体の連名で行いました。

要望内容は、これまでも本通信等で案内しておりましたが、現在の川崎駅ホームの朝夕のラッシュ時の度を越した混雑は、いつ事故が起きないかと各方面で心配している状態になっています。それは、改札口が現在中央一か所で集中していることが大きな要因といえます。JRは、北口改札を平成二十九年完成という計画を持っていますが、川崎駅西口の新大型ビルの完成により七千人以上の新たな従業者が発生することが明らかであり、とても五年後の完成では間に合わないのではないかと思われれます。また、街のバランスという視点からも北口と南口の改札ということでは考えるべきであるという趣旨から南口の改札設置を要望しています。五団体の要望ということは、大きなインパクトを持つものと言えます。是非、実現への第一歩としていきます。

(タウンマネージャー笹原克)

◇大型バス駐車場設置要望

三月二十一日に川崎駅南口改札の設置要望とあわせて「大型バス駐車場設置要望」を川崎市長および川崎商工会議所、かわさきTMO、川崎商工会議所、川崎市観光協会、川崎中央商店街連合会、川崎駅前商店街連合会の五団体の連名で行いました。

大型バスの駐車場に関しては、かわさきTMOでは提言部会を中心に検討を進めてきました。また、観光協会でも観光の視点から大型バスの駐車場設置に関してこれまでも提案がなされてきました。また、川崎駅周辺地区の国際化を考える中でも大型バスの中心市街地へのアクセス(接近)を容易にするため、大型バス専用の駐車場及び乗降場所の設置が社会的基盤として重要であるという提案がなされてきました。このように多方面からの提案が一つとなって今回の設置要望となっております。

かわさきTMOでは、今後具体的な駐車場設置場所を数か所想定して、要望書提出の四団体と協力し川崎市関係部局、警察等の関係者との調整を行ってまいります。

(タウンマネージャー笹原克)